

令和7年度第2回函館市スポーツ振興審議会 会議録

- 1 日 時 令和8年1月30日（金）
15時00分～15時40分
- 2 場 所 市役所本庁舎5階 教育委員室
- 3 出席者 委員： 小笠原委員，名古屋委員，松田委員，中島委員，小坂委員，
水野委員，稲村委員，水谷委員
(委員9名中8名出席)
事務局： 宮田生涯学習部次長，長尾スポーツ振興課長，池上主査，
佐々木主事
傍聴人： なし

4 議 事

(1) 協議事項

正副会長の選任について

(2) その他

5 発言要旨

(1) 開 会

・事務局
(池上主査)

本日はお忙しいところ，お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより，「令和7年度第2回函館市スポーツ振興審議会」を開催させていただきます。

本日は8名の委員にご出席いただいておりますことから，函館市スポーツ振興審議会規則第3条第3項の規定に基づき，本審議会が成立していることをご報告申し上げます。

それでは，会議に先立ちまして，函館市教育委員会生涯学習部次長の宮田よりご挨拶を申し上げます。

(2) 生涯学習部次長挨拶

・事務局
(宮田次長)

～挨拶～ (省略)
※生涯学習部長に代わり，生涯学習部次長より挨拶

・事務局
(池上主査)

本日は，新委員の皆様による初めての審議会でございますので，函館市スポーツ振興審議会の概要につきまして，スポーツ振興課長の長尾よりご

説明を申し上げます。

(3) 委員紹介

・事務局
(長尾課長)

函館市スポーツ振興審議会の概要についてご説明いたします。

函館市スポーツ振興審議会は、スポーツ基本法第31条の規定および函館市スポーツ振興審議会条例に基づき設置している審議会であり、委員につきましては、学識経験者や関係団体から推薦いただいた方、公募により応募いただいた方の9名を教育委員会が委嘱しており、任期は2年となっております。

委員の皆様には、スポーツに関する施策について、調査・審議をお願いするほか、函館市スポーツ賞受賞者の選考についても、ご審議を頂いております。

皆様のお手元の資料、17ページ～19ページに、函館市スポーツ振興審議会条例および規則を掲載しておりますので、後ほどご確認をお願いいたします。

それでは、ご出席の委員の皆様を、お手元にお配りしております名簿順にご紹介をさせていただきます。委員の皆様には、一言、ご挨拶をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

～各委員の氏名を読み上げ、各委員から一言あり～（省略）

以上、9名による委員構成となっております。

(4) 事務局紹介

・事務局
(長尾課長)

次に事務局員を紹介いたします。

～事務局職員の氏名を読み上げて紹介～（省略）

よろしくお願いいたします。

(5) 議事

・事務局
(池上主査)

それでは、これより議事に入らせていただきます。

(1) 協議事項の「正副会長の選任について」でございますが、正副会長の選出方法につきましては、資料の19ページに記載しております、本審議会規則第2条で、委員の互選により選出することとなっておりますこ

とから、まずは、仮議長の議事進行のもと、正副会長を選出したいと考えております。

仮議長につきましては、委員改選前まで会長を務めていただいていた小笠原委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

・全委員

異議無し

・事務局
(池上主査)

ご異議がないようでございますので、小笠原委員に仮議長を努めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

・小笠原委員

～仮議長席へ移動～

・小笠原委員

それでは、議事（１）協議事項「正副会長の選任」について、本審議会の会長および副会長の互選を行います。進め方について、皆様何か意見などはございますか。

・名古屋委員

事務局に一任するのはどうでしょうか。

・小笠原委員

はい。今名古屋委員の方から事務局の方からという意見がございましたので、事務局一任ということでどうでしょうか。

・全委員

異議無し

・小笠原委員

それでは事務局の方からお願いします。

・事務局
(長尾課長)

事務局といたしましては、会長には、函館市スポーツ協会の副会長としてスポーツの振興・発展に携わっており、委員改選前におきましても、本審議会の会長を務めていただいた、小笠原委員に引き続きお願いしたいと考えております。

また、副会長につきましても、改選前に引き続き、名古屋委員にお願いしたいと考えております。

以上でございます。

・小笠原委員

はい。ありがとうございます。

それでは会長には私、小笠原を、副会長には名古屋委員ということに決定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

・全委員

拍手

- ・小笠原会長

以上で本審議会の正副会長の選任を終了します。
- ・事務局
(池上主査)

ありがとうございました。
それでは、正副会長が選任されましたので、名古屋副会長には、副会長席にお着きいただきたいと思います。
- ・名古屋委員

～副会長席へ移動～
- ・事務局
(池上主査)

それでは、ただいま会長に選任されました、小笠原会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。お願いします。
- ・小笠原会長

～挨拶～(省略)
- ・事務局
(池上主査)

ありがとうございました。
次に、名古屋副会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。
- ・名古屋副会長

～挨拶～(省略)
- ・事務局
(池上主査)

ありがとうございました。それでは審議会規則に基づき、小笠原会長を議長として、議事の進行をお願いしたいと思います。小笠原会長、よろしくお願いします。
- ・議長

それでは、議事を進行させていただきますが、(2)その他 ですが、事務局から何かございませんか。
- ・事務局
(長尾課長)

事務局より「スポーツ賞について」と「スポーツ振興課の事業について」報告させていただきます。
まず、「スポーツ賞について」でございます。
昨年11月26日に開催されました、令和7年度第1回スポーツ振興審議会にてお諮りし、決定いたしました「令和7年度函館市スポーツ賞の受賞者について」新しく就任された委員もいらっしゃいますことから、改めてご報告いたします。
お手元の配付資料の1ページ目をご覧ください。
本年度のスポーツ賞につきましては、功労者部門においては、2名、功労団体部門においては、1団体、成績部門特別表彰においては、個人1名、成績部門においては、個人で2名、団体で1団体、令和7年度第1回スポーツ振興審議会の推薦があり、令和7年度第1回スポーツ振興審議会を経て、受賞者として決定したものでございます。

なお、要綱等につきましては、資料2ページから16ページに記載して
ございます。

それでは、受賞者について、ご説明いたします。

功労者部門を受賞された1人目は、函館市ラグビーフットボール協会よ
り推薦のあった、額賀 康之（ぬかが やすゆき）さんでございます。

額賀さんは、2012年から3年間にわたって、函館市ラグビーフット
ボール協会の会長を務め、競技力向上を図るだけでなく、重傷事故防止の
ための研修を毎年実施し、安全対策にも尽力されました。

また、昨年6月には日本ラグビーフットボール協会から、功労賞を受
賞されているところでございます。

功労者部門を受賞された2人目は、函館柔道連盟より推薦のあった、
室田 晴康（むろた はるやす）さんでございます。

室田さんは、2010年4月より函館柔道連盟会長に就任し、現在に至
るまで本市のみならず道内の柔道の競技力向上と普及発展に大きく寄与さ
れておられます。

また、2020年に函館市スポーツ協会で最も権威のある「スポーツ功
労賞」を受賞されているところでございます。

功労団体部門として受賞されたのは、函館市ラグビーフットボール協会
でございます。

函館市ラグビーフットボール協会は今年で創立100周年を迎え、これ
までには、40歳以上で構成されたラグビーチームの開設や、少年ラグビ
ースクールを設立開校など、函館市の幼児から高齢者までラグビー愛好者
の健全な育成に尽力されました。

成績部門で特別表彰を受賞されたのは、函館スキー連盟より推薦のあつ
た、函館市医師会看護・リハビリテーション学院五稜郭キャンパスの専門
学校生3年生の稲村 潤己（いなむら じゅんき）さんでございます。

稲村さんは、「第22回全日本スノーボード技術選手権大会」におい
て、男子フリースタイルの部に出場し、第1位、これは2連覇になります
が、成績を残されたものであります。

なお、稲村さんは昨年度の成績部門でのスポーツ賞受賞者であるため、
今回特別表彰として受賞されました。

成績部門を受賞された1人目は、函館地区体操連盟より推薦のあった、
函館大学付属有斗高等学校2年生の船越 皇佑（ふなこし こうすけ）さ
んでございます。

船越さんは、「JOCジュニアオリンピックカップ 2025全日本ジ
ュニア体操競技選手権大会」において、選手権2部男子種目別跳馬に出場
し、第3位の成績を収められました。

成績部門を受賞された2人目は、函館工業高等専門学校より推薦のあった、函館工業高等専門学校2年生の佐々木 郁哉（ささき ふみや）さんでございます。

佐々木さんは、「第60回全国高等専門学校体育大会陸上競技」において、男子110mハードルに出場し、第1位の成績を収められました。

成績部門を受賞された団体は、函館工業高等専門学校より推薦のあった、函館工業高等専門学校女子バスケットボール部でございます。

この女子バスケットボール部は、「第60回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技」において、北海道代表として出場し、第1位の成績を収められました。

以上、功労者部門2名、功労団体部門1団体、成績部門特別表彰1名、成績部門個人2名、団体1団体、の報告でございました。

なお、函館市スポーツ賞贈呈式は、2月10日の火曜日、15時00分から函館国際ホテルにて実施いたします。皆様におかれましても、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

続きまして、スポーツ振興課の事業について報告いたします。

この時期なので来年度の事業をお話しできれば良かったのですが、予算が議決前で、来年度のお話ができないので、今日は令和7年度の事業内容について、3つお話ししたいと思います。

1つ目は「緑の島スケートボードエリア」です。こちらは管理運営を函館アーバンスポーツ協会に委託しております。

開設期間は7年5月1日から、11月3日まで開設しておりました。冬の期間は雪が降って危ないので、置いているセクションを撤去して、別のところで保管しております。設置の目的としては、幅広い層の競技者・愛好者が自由に滑走できる場所を増やして、スケートボードを楽しむ機会を増やす。

場所については、スケートボードは音が大きく、市内でスケートボードができる場所は実は緑の島だけになっておりまして、緑の島でスケートボードエリアを暫定的に設置して、利用者ニーズを把握するための実証実験として3年間設置する1年目が7年度でございました。

函館アーバンスポーツ協会に委託をしている業務内容は、スケートボードエリアの管理・施設内の巡回、週に1回エリア内を巡回していただきました。体験会の実施については、9月20日・21日で開催された黒船サーカスのイベント内で実施したのですが、21日は悪天候で黒船サーカス自体が中止となりましたので、1日間だけの体験会でございました。

また、利用調査についても業務委託の中に含まれておりました。スケートボードエリアを利用するに当たっての注意事項も皆さんにお示しして利用していただいたのですが、たとえば、警察や消防などの出動報告が私た

ちに一切届いていなくて、むしろ世代間の交流の場となっております。なので、皆様禁止事項等を守って利用されたのではないかと考えております。

次はアンケート結果です。回答者は227名おります。だいたい函館市内と道南近郊で70%を占めておりましたが、北海道内、東北、その他から来ている人もいました。

年齢については、10歳未満から50歳未満まで満遍なく来ていて、10～20歳が多いのかと思っていたのですが、そのようなこともなく、きつとこの子たちの親御さんの世代がスケボー第1世代で、年代偏ることなく、スケートボードが楽しまれていることが分かりました。

「何回目ですか」という調査については、2回目以上の方が多く、リピーターが多いことが分かりました。

経験年数は1年未満が28%で、東京オリンピックの前にスケボーが流行っていて、その影響があるのか、1年～5年、それ以上の方が多く見られました。

この人たちはどのようなところで習っているのかということで、スクール歴を聞いたら、通ったことがある人は少なく、通ったことがない人は79%。今はYouTubeなどもあるので、スクールに通はなくてもできるということが分かりました。

移動手段については、自家用車が多かったです。移動距離についても通いやすい、丁度良いという方が多かったです。緑の島は函館市の比較的端の方であり、五稜郭であると皆が来やすいかもしれませんが、公共スペースではなかなか難しいため、立地としては良いのではないかと思います。

設置されているセクションについては、ハーフパイプやベールなど15種類のセクションがあり、中級レベルまでの人が対応できるため、ほとんどの人が満足しているのではないかと思います。

ご意見などについては、比較的好意的な意見が多く、「ずっと開いて欲しい」、「ここだけではなく色々なところに開いて欲しい」など様々な意見をいただきました。

～実際にスケートボードエリアを楽しむ利用者の姿を動画で紹介～
以上がスケートボードエリアについての報告です。

続きまして、ネーミングライツがつきまして、函館フットボールパークがうみしんフットボールパークになりました。うみしんフットボールパークの芝改修になります。

建ててから28年経過した古い芝の部分があり、ずっと改修してなかったのですが、この度、改修することになりました。今の芝よりも暑さに強く、踏まれても強く、回復力の早い芝にしようと思います。北海道の芝は凍結の影響なのか、スプリンクラーが付いていないところが多いのです。

が、新たな芝には48個ほど付く予定となっております。改修後には、市民の皆様にも使っていただいていたほしい他、昨年のニュースにもなりましたが、Jリーグのキャンプ、函館にはRB大宮アルディージャが来ますが、そちらにも使っていただきたく、令和8年度は改修のため使えませんが、1年かけて改修したいと思います。

先ほど申し上げたJリーグの合宿誘致に向けたこれまでの取り組みについては、渡島総合振興局で作成した資料で説明したいと思います。

Jリーグの合宿誘致の背景としては、2026年～2027年にかけて、今は2月開幕で12月閉幕ですが、8月開幕で5月閉幕になります。そのため、今までは1月2月に沖縄や鹿児島でキャンプしていたところを冷涼な東北や北海道でキャンプをすることになるだろうということで、合宿誘致を始めました。

プロチームの合宿を誘致することで経済効果の創出や選手と子どもたちが交流することでスポーツ振興、地域活性化が期待できると考えております。

渡島地域の可能性については、東北以北で一番優位性があると思っております。本州主要都市からのアクセスがよく、質の高い天然芝のグラウンドが七飯や北斗市にもあり、函館市も改修して良い芝になり、この3市町の移動時間が短いところで練習試合が組みやすい利点があります。また、Jクラブの合宿を受け入れた実績が3市町全てにあることが渡島地域の可能性であり、気候では、北海道の中でも、南にあるが気温が高くないところが道南の魅力と言われております。練習試合の組みやすさについても、サッカーのキャンプは1次キャンプと2次キャンプがあり、1次はフィジカルトレーニングで、2次は実践的なものであり、練習試合を多くすることが目的であるため、函館・北斗・七飯が近くにあり、高速道路がつながっているため、信号なく移動できるところが利点であると言われております。

これまでにしてきたことについては、勉強会であり、最初は渡島や七飯が主導で、Jリーグが求めるものやキャンプの効果について勉強しておりました。また、合宿地の視察ということで、今年の1月にも渡島・函館・七飯・北斗で沖縄・鹿児島・宮崎の視察に行っております。ちなみに昨年にも行っております。そして、渡島がJリーグ合宿誘致連絡会議を立ち上げ、渡島地域全体で情報共有ができ、全体で合宿を呼ぼうという機運が生まれました。また、夏前にもJリーグの誘致を展開しております。

渡島地域のプレゼン資料作成や視察の受け入れやプロモーションに行くことを重ねておりました。結果として函館市にはRB大宮アルディージャ、まだJ2ですが、函館キャンプ後にJ1になれば良いなと思っております。北斗市には東京ヴェルディ、七飯には川崎フロンターレが来ます。

私たちが目指すのは、この3チームだけではなく、もっと増やしていこうということで来年度以降も誘致活動を続けたいと思います。

以上でスポーツ振興課からの報告を終わります。ありがとうございました。

・ 議 長

ありがとうございます。

冒頭のスポーツ賞贈呈式については、皆様に案内はされておりますでしょうか。

・ 事 務 局

はい。

(池上主査)

・ 議 長

2月10日に贈呈式がございまして、去年は稲村さん一人でありましたが、今回はとても大人数で賑やかな表彰式になるのではないかと楽しみにしておりますし、表彰式が審議会のメインになりますので、お越しいただければと思います。

後何か皆様からございますか。

・ 水野委員

はい。

先ほどの説明の中で「うみしん」とありましたが、ネーミングライツを通して資金を貰っているのでしょうか。

・ 事 務 局

ネーミングライツという事業に函館市が取り組んでおりまして、一番最近でございますと、函館アリーナが函館サーモン・まるなまアリーナに愛称が決まりましたという報道が流れましたが、公共施設の名称を企業の商品や会社名を付けてPRするかわりに料金をいただく仕組みがネーミングライツなので、うみまち信金さんからもネーミングライツ料はいただいております。

(長尾課長)

・ 水野委員

それは公的に募集をされましたか。また募集したのであれば、どんなカタチですか。

・ 事 務 局

HP で募集しました。

(長尾課長)

・ 水野委員

ありがとうございました。

・ 議 長

ありがとうございます。

ほかに何かございますか。

・ 全委員

質問無し

・議 長 | それでは本日に議事は全て終了しましたので、事務局に進行をお返ししたいと思います。

(6) 閉 会

・事 務 局 | 小笠原会長，お疲れ様でした。
(池上主査) | 委員の皆様におかれましては，任期である令和9年12月23日まで，どうぞよろしく申し上げます。
| 以上を持ちまして，「令和7年度第2回函館市スポーツ振興審議会」を終了いたします。本日は大変お疲れ様でございました。
